

教員支援員の配置

資料3

教員支援員の特色

教員を直接支援

教員の事務作業を直接支援し、子どもたちと向き合う時間を確保

再任用職員を配置

- 市行政経験を生かした助言・相談
- 市や県、関係機関との連絡調整役

事務作業



相談・助言



教員支援員の配置先(令和2年度) ※ 8人を16校へ配置

学校名	退職時の役職	性別	教員数	児童生徒数	学級数
西が丘小学校	幼稚園長	女	34人	764人	27
新町小学校			27人	478人	22
南が丘小学校	幼稚園長	女	39人	785人	32
一身田小学校			29人	588人	22
立成小学校	幼稚園長	女	32人	619人	24
高茶屋小学校			36人	604人	27
北立誠小学校	幼稚園長	女	26人	498人	21
千里ヶ丘小学校			30人	507人	22
草生小学校	保育園長	女	7人	54人	5
明合小学校			10人	105人	7
橋北中学校	副参事	男	36人	612人	19
橋南中学校			33人	493人	19
久居中学校	担当主幹	男	35人	522人	18
久居東中学校			33人	489人	18
朝陽中学校	担当主幹	男	34人	544人	19
一身田中学校			31人	478人	18

※ 教員数、児童生徒数及び学級数は令和2年4月1日時点

教員支援員を配置した各学校へのアンケート結果による効果

1. 教員支援員の方にどのような業務を依頼していますか(複数回答可)

	11校での割合
① 調査・統計等に係る事務に関する支援	40%
② 授業の準備に関する支援	41%
③ 学校行事等の準備及び運営に関する	45%
④ 学校徴収金に係る事務に関する支援	22%
⑤ 学校運営等に関する相談助言	10%
⑥ その他学校長が必要と認める教員事務に係る支援	15%

2. 児童・生徒と直接、関わる時間(教育相談等を含む。)が取りやすくなった。

	11校での割合
あてはまる	43%
概ねあてはまる	28%

3. 児童・生徒の様子や実態を以前より把握しやすくなった。

	11校での割合
あてはまる	36%
概ねあてはまる	28%

4. 教育研究等にかかる時間がとるやすくなった。

	11校での割合
あてはまる	50%
概ねあてはまる	25%

5. 児童・生徒についての情報交換や協議の時間が取りやすくなった。

	11校での割合
あてはまる	46%
概ねあてはまる	25%

6. ゆとりを持って仕事が出来ようになった。

	11校での割合
あてはまる	47%
概ねあてはまる	29%

7. 時間外勤務が減ってきた。

	11校での割合
あてはまる	30%
概ねあてはまる	34%

教員支援員の効果及び取組に係る自由記述より

- ・教員支援員の配置が、「こんなに助かるんだ。」と実感している。
- ・仕事のゆとりができ、子どもたちと向き合う時間が増えたので、効果は大きくある。
- ・仕事を依頼するため、計画的に仕事を進める必要が生じ、仕事への意識改革につながった。
- ・心のゆとりが子どもたちへのゆとりにつながっており、大変ありがたい。
- ・仕事を頼むことで、助け合う文化を醸成することにつながると確信している。

※ 令和元年9月のアンケート調査結果による

令和2年度の配置の考え方

・より有効的に活用している小学校へ多くの教員支援員を配置

・複数校で勤務を行う教員支援員を増員して、配置校を拡大

教育大綱の実現

子どもたちの学力を向上させるため、
教員が子どもたちと向き合う時間を確保します！

《参考》スクール・サポート・スタッフについて

趣旨

多様な地域人材をスクール・サポート・スタッフとして県内公立小中学校及び義務教育学校に配置し、教員が抱える事務作業等の負担を軽減させることで、教員が本来の教育活動に専念でき、児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる教育体制の整備に寄与する。

配置人数 《令和2年度》

全国:5400人 三重県:100人
津市:14人分→勤務時間を調整することで配置校を拡大
(財源内訳 内訳:国1/3、県2/3負担)